賢明なる全市民諸氏。

現在政界業界等に於ける戦争不況の為に依って労働條件の低下を行なわれ解雇等を平然として強いられた我々労働階級は働く事に依ってのみ生存して来たのであり、大半は資本家の搾取死を宣告されたる者であり釣られたる魚も水より陸上へ投出されたる如くなるのであります。

されなれば今日社会問題は複雑となり、人々と共に社会問題を考へ本を推して最高の今日迄に御人類の御慶事前にあるかの我々の心情を顧みず徒に既に終に後戻れ出でるが如き資本主国民間であり、根底まる破壊国賊であると言ふも敢へて過言ない程の資本家に対し我々議員は徹底的に闘争し全国民衆の為し全国の無産階級同盟の為に強く進撃戦せんとする者であります。

第一回全国民諸氏。

此年議に対し正義なる御批判を与へると同時に親愛なる諸氏の特別に五月の一貫教に御指導を切望して止まないのであります。

昭和三年一月廿三日

日本労働
総同盟、東京第一産業組合部
東京製靴学校、学議、劇座部
南千住、下橋場、一三二
電話、浅草一二九三四、(略称)

3.11.13
222

労秘第一、四四四号

昭和三年十月三十日

憲兵隊長官 田光雄

内務大臣 望月圭介殿

社会局長官殿

大阪、神奈川、兵庫各府県警察部長殿

東京製靴学校ノ学術学校ニ準ズル件（第又邦）

要旨　学校令ハ教育機関ハ主役国家ニ対抗スルニ効カヲトナシ私立学校ニ学校令ノ適用ヲ設ケ主権ヲ以テ教育及指揮スル文部大臣ノ権限ヲ強化スルコトヲセルガ今日ハ方急務ト認ル所以